

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

施設名 山梨県富士北麓公園
 所管課 観光文化・スポーツ部 スポーツ振興課
 指定管理者 公益財団法人山梨県スポーツ協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人山梨県体育協会	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	242,238,000
公益財団法人山梨県体育協会 (H24.3.31まで財団法人)	○	H21.4.1	～	H26.3.31	5年	385,190,000
公益財団法人山梨県体育協会	○	H26.4.1	～	H31.3.31	5年	402,259,000
公益財団法人山梨県スポーツ協会 (H31.4.1山梨県体育協会から名称変更)	○	H31.4.1	～	R5.3.31	4年	382,590,217
公益財団法人山梨県スポーツ協会	○	R5.4.1	～	R9.3.31	4年	367,161,838

2 施設の概要

所在地	富士吉田市上吉田立石5000
設置年月日	昭和61年11月1日
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例
設置目的	(1)都市公園としての①～③の機能を発揮すること ①遊び、憩いの場を提供すること ②防災拠点としての機能を発揮すること ③良好な緑地景観、環境を提供すること (2)スポーツの場を提供すること (3)主催事業の実施を通じて、スポーツに親しむ機会を提供すること
主な業務の内容	(1)公園施設及び設置器具等の維持保全 (2)有料施設の利用承認 (3)スポーツ振興のための催しの実施 (4)スポーツの講習会の実施 (5)県が実施する大会等への協力
主な施設内容 (定員等)	○公園面積 31.6ha ○施設の内容 ・第2種公認陸上競技場(敷地面積39,539㎡、トラック、フィールド、メインスタンド、11,105人収容) ・野球場(敷地面積21,172㎡、内外野スタンド、スコアボード、13,459人収容) ・球技場(20,200㎡、フィールド、5,600人収容) ・体育館(延床面積5,575㎡、メインアリーナ、サブアリーナ、2,234人収容) ・屋内練習走路(延床面積1,408㎡) ・フリーウエイトトレーニング室(延床面積352㎡) ・駐車場(大・小・臨時) ・その他(緑地、園路広場)
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	○令和5年12月19日 園路改修工事 (工事金額 18,470,100円) ・球技場車両進入路改修 ・大駐車場階段バリアフリー対応(手摺、点字ブロック設置) ○令和6年3月6日 照明設置工事 (工事金額 11,035,200円) ・野球場北駐車場照明設置2基 ○令和6年3月13日 施設上屋設置工事 (工事金額 41,693,300円) ・ブルーペン上屋及び照明設置 ・フリーウエイト屋外設備機器庇設置

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
収入合計	109,302,963	106,937,282	118,377,039	108,068,910	114,862,674	
支出合計	108,156,320	104,062,664	112,658,037	102,690,071	116,104,835	
収支差額	1,146,643	2,874,618	5,719,002	5,378,839	△ 1,242,161	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
利用実績	77,389人	77,243人	155,624人	228,727人	263,962人	
利用者 満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和6年度)

富士山麓の雄大な自然に囲まれ、富士山と富士五湖という絶好のロケーションを持ち、住宅地から離れていることで、マラソン、トレイル、ツーリングなどの大型イベントが複数開催され、県内外、海外から多くの来園者が訪れることで、利用者数、利用収入ともに目標を上回る成果を上げることができた。また、なでしこリーグやWリーグが開催されたことで、県民の方、特に富士北麓地域の方々に「見るスポーツ」が提供できた。

一方で、スポーツ振興事業については、高齢者に人気のあるグラウンド・ゴルフのイベント以外は低調であり、特に、スポーツの習慣化を目指し、一般成人向けに開催した健康・体力づくり教室では、1回券や3教室が共通で利用できる回数券、トレーニング室セット券などを新設し参加者の拡大を図ったが、取り組みに対する効果は得られず低調な結果となった。

運営経費では、物価高騰により各種価格が値上がりしたが、光熱水、燃料等の削減策を継続しつつ、経常経費では、費目ごとに月々の目標額を設定しスタッフに共有することで、特に消耗品費で節減の効果がみられるなど細かな経費圧縮に努めた。また、好調な利用料収入を活用し、体育館会議室他2室に空調機の設置、野球場シャワー室の給湯器の取替修繕を行い、経費は増大したものの利用者の利便性向上に努めた。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和6年度)

指定管理業務は、概ね事業計画に沿って適切に実施されている。

特に、なでしこリーグやWリーグに加え、富士山麓という立地を活かした「Mt.FUJI100」や「富士山クライムラン」などの新たな大型イベントを受け入れたことにより、利用者数および利用料収入が目標を上回った点は高く評価できる。あわせて、地域住民に「見るスポーツ」の機会を提供し、スポーツ振興にも貢献している。

一方で、一般成人向けのスポーツ教室については、参加者拡大に向けた工夫が見られたものの、一部の教室では定員に満たなかった。今後は、早期の講師確保に加え、対象層のニーズ把握や広報の工夫を図り、より多くの参加につなげるよう指導した。

経費面では、光熱水費の削減に努めた結果、経常経費の抑制に一定の成果が見られた。また、利用料収入を活用して空調機や給湯器の更新を行った点も適切であり、利用者サービスの向上に資する取り組みとして評価できる。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和6年度)

大型イベントやリーグ戦の開催により、利用者数・収入が増加した。今後も地域特性を活かした事業展開を進め、スポーツ振興と施設の有効活用に努める。地域住民を含む多様な利用者に向け、魅力あるイベントの誘致を継続する。

一般成人向けスポーツ教室では、参加者の伸び悩みを課題と捉え、ニーズの把握や広報手法の見直しを行う。講師の確保やプログラムの再構成を早期に進め、参加しやすい教室運営を目指す。

経費面では、光熱水費や消耗品費の削減を継続し、費目ごとの目標額をスタッフ間で共有することで、日常的なコスト意識の向上を図っている。あわせて、利用料収入を活用した設備改善も計画的に進め、利便性の向上に努める。

引き続き、効率的な運営とサービス向上の両立を図り、事業計画の着実な実行に取り組む。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

施設名 山梨県富士北麓公園

所管課 観光文化・スポーツ部 スポーツ振興課

指定管理者 公益財団法人山梨県スポーツ協会

1 利用状況

(単位:人、%)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	公園利用者数	77,389	77,243	155,624	228,727	263,962
	有料施設利用者数(観客含)	(63,138)	(61,617)	(133,709)	(157,431)	(170,718)
	利用者数合計	77,389	77,243	155,624	228,727	263,962
	目標値	90,180	77,389	331,070	329,190	228,727
	実績/目標割合	85.8%	99.8%	47.0%	69.5%	115.4%
利用者数	目標値の設定方法	R2~R3:新型コロナの影響や陸上競技場インフィールド、球技場の利用制限が行われることを考慮し、前年度の利用実績を基に観客等の来園者数として設定 R4:新型コロナの影響で令和2年度、3年度の実績が参考とすることが出来ないため、新型コロナの影響が無い令和元年度4月から2月までの実績を使用し設定 R5:新型コロナの影響で令和2年度、3年度の実績が参考とすることが出来ないため、新型コロナの影響が無い令和元年度4月から2月まで及び平成30年3月の実績を使用し設定 R6:コロナ禍の制限が解除され、各種大会・イベントが日常に戻ってきていることを勘案し、前年度実績を目標値とした。				
	稼働率等(利用率)	212人/日	211人/日	426人/日	625人/日	723人/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数/営業日数(365日)				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	・小瀬スポーツ公園 ・緑が丘スポーツ公園
----------	-------------------------

3 補修工事等の状況(令和6年度)

(単位:円)

管	体育館会議室他空調機設置	6,050,000
管	野球場給湯器取替修繕	1,266,650
管	陸上競技場手動シャッター修繕	748,000
管	上水場地下排水ポンプ取替修繕	491,744
管	大駐車場スピーカーアンプ取替修繕	2,449,854

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和6年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
1	公募	売上額の25%	650,709	
3	公募	売上額の20%	538,711	
1	公募	売上額の32%	233,328	
1	公募	売上額の29.45%	327,099	
1	公募	売上額の5%	47,694	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収 入	A 収入額計	109,302,963	106,937,282	118,377,039	108,068,910	114,862,674
	施設利用料	12,274,120	9,858,408	17,894,042	16,651,824	19,855,621
	指定管理委託料	92,338,355	92,440,979	97,289,031	88,265,838	91,480,766
	追加委託料(感染症)	2,345,807	1,857,782			
	スポーツ振興事業収入	718,190	804,280	1,099,010	537,460	580,860
	自動販売機手数料	925,505	814,373	1,180,312	1,587,430	1,797,541
	その他	700,986	1,161,460	914,644	1,026,358	1,147,886
支 出	B 支出額計	108,156,320	104,062,664	112,658,037	102,690,071	116,104,835
	人件費	32,837,978	31,373,364	31,119,596	29,478,555	33,833,741
	光熱水費	7,257,825	7,276,924	13,146,730	9,313,237	11,159,940
	修繕費	4,406,497	3,415,390	4,568,202	4,835,187	3,689,598
	報償費	20,000	37,280	38,320	10,400	10,400
	旅費	22,126	15,186	81,673	30,044	19,055
	消耗品費	2,577,086	1,330,089	1,762,836	1,932,035	1,893,225
	燃料費	866,926	958,275	1,049,697	854,212	920,413
	印刷製本費	406,875	395,328	514,689	328,622	400,897
	通信運搬費	200,941	209,261	237,332	234,679	230,248
	手数料	629,092	939,007	677,699	1,305,273	821,391
	保険料	400,460	94,040	135,020	93,800	152,940
	使用料及び賃借料	695,529	751,750	899,606	737,176	663,139
	運営諸経費	562,751	563,814	266,420		
	公租公課費	3,560,346	3,521,620	3,843,209	3,563,316	4,902,292
	スポーツ振興事業支出	769,256	1,092,326	1,143,711	548,220	590,560
	県等備品寄贈額					7,316,650
	その他	5,000		16,720	635	170
	外部委託費	52,937,632	52,089,010	53,156,577	49,424,680	49,500,176
	植栽管理	28,701,255	28,710,000	28,753,000	33,339,000	32,450,000
	設備管理	6,618,612	6,619,712	7,353,302	6,640,983	6,713,283
	清掃管理	7,088,675	7,088,675	7,088,675	8,448,000	8,448,000
	スポーツ振興業務他	9,675,600	8,817,133	9,471,000		156,200
	警備業務	435,600	435,600	435,600	435,600	435,600
	その他 除雪他	417,890	417,890	55,000	561,097	1,297,093
	外部委託比率	48.9%	50.1%	47.2%	48.1%	42.6%
	県への納付金					
収 支 差 額 (A - B)		1,146,643	2,874,618	5,719,002	5,378,839	△ 1,242,161

一人当たり指定管理者委託料 *	1,193.2	1,196.8	625.2	385.9	346.6
-----------------	---------	---------	-------	-------	-------

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
C 収入額計	155,850	960,060	1,171,824	1,154,260	531,820
D 支出額計	41,761	639,574	1,166,821	842,387	335,826
収 支 差 額 (C - D)	114,089	320,486	5,003	311,873	195,994

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	売店事業	利用者	体育館
2	富士北麓Challenge Day	東京都中学生	全施設
3			
4			
5			

7 利用者満足度

実施方法等	実施時期: 令和6年4月～令和7年3月 実施方法: 公園利用者へのアンケート 回答数: 515人			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
花や木々について	79.10%	20.15%	0.75%	
トイレや休憩所について	79.28%	16.76%	2.82%	1.13%
園路や広場について	83.96%	15.66%	0.38%	
園内情報・案内板について	87.90%	11.72%	0.38%	
自動販売機について	87.90%	11.34%	0.76%	
公園スタッフの対応について	90.88%	8.94%	0.19%	
施設全般の満足度	85.3%	13.6%	0.9%	0.2%
利用者の主な意見	①暖房器具の設置または無料で貸し出しをして欲しい。 ②体育館はきれいだった。しかし異常に寒かったので空調が欲しい。 ③スタッフさんの対応が良かったです。ありがとうございました。 ④カメムシが多く発生しているようで館内に多く死骸不快。 ⑤景観とてもきれいで最高でした。 ⑥幼児体育を予約可能にしてほしい。 ⑦ロッカー リターン式になると嬉しいです。 ⑧冷風機の対応をして下さり助かりました。			
利用者の意見への対応	・体育館の冷暖房設備については、現在県での検討が進められていることを利用者に説明し、理解を求めた。一方で、会議室・医務室・事務室の3室には、令和6年度の利用料増収分および前年度までの収支差額を活用し、冷暖房設備を設置した。 ・衛生面では、冬季に大量発生したカメムシへの対応として、利用者への影響を最小限に抑えつつ消毒作業を実施し、清掃業者と連携してこまめな清掃を行った。また、「トイレや休憩所」に対する1.13%の不満については、屋外トイレに関するものと推測し、清掃回数を増やす対応を行った。			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務計画書に基づき、適正に業務を執行した。 8月に落雷被害があり、放送設備や消防設備の一部に影響を及ぼしたが、巡視や利用者への呼びかけを増やすことで利用に支障がないよう努めた。 また、備品管理では、県と協議のうえ不用品となった備品の廃棄を行うなど適正な管理を心掛けた。 各施設は、老朽化が進んでいる箇所も多いことから、利用頻度が高い箇所を優先し修繕を行った。	業務計画書に基づき、概ね適切に維持管理が実施されている。 特に、落雷による設備への影響に対しては、巡視の強化や利用者への注意喚起を行い、支障のない利用環境の確保に努めた点は評価できる。 また、備品の廃棄についても県と協議のうえ適切に対応しており、管理体制の整備が進められている。 老朽化が進む施設において、利用頻度の高い箇所から優先的に修繕を行った点も適切である。 今後も、迅速な対応の継続と適切な保守管理に努めること。
運営業務	公園及び各施設の広報媒体として、これまでのホームページに加え、X(旧Twitter)及びInstagramを使用し、よりリアルタイムに情報が提供できるよう取り組んだ。 また、県と協議し3月の休場日を利用可能日とし、県内外から希望がある合宿利用等の拡充を図った。	広報手段として、従来のホームページに加え、X(旧Twitter)やInstagramを活用し、リアルタイムな情報発信に取り組んだ点は評価できる。 また、県と協議のうえ、施設の稼働状況や管理体制を踏まえ、一部の休場日を活用した合宿利用を受け入れるなど、柔軟な運営が行われている。 今後も、利用者ニーズに応じた運営と、効果的な情報発信の工夫を継続すること。
利用状況	令和6年度は、新たに大型イベントとして「Mt.FUJI100」、「富士山クライムラン」の利用を受け、県内外及び海外からより多くの方が公園に訪れた。 このほか、一般利用においては、練習・合宿で多くの利用があったこと、また、「オリンピックデーラン」や「富士吉田市ホストタウン事業」など地域のオリンピックレガシー事業の利用があったことで、前年度を上回る方が公園を利用した。	新規大型イベントの誘致や、地域事業との連携により、利用者数が増加している点は評価できる。 県内外、更には海外からの来訪者を迎えたことは、施設の広域的な価値を高めるものであり、今後も多様な利用促進に努めること。
収支状況	新規の大型イベントを2つ受けたこと、また、富士山の銘水スタジアム及び体育館において合宿利用が増加したことにより、利用料収入が増加した。 経費については、様々な経費が高騰したが、節減に取り組み例年並みで推移した。 ただし、外部委託費については、施設利用の予定がある中、3月に3度の降雪に見舞われたため、冬季に比べて広範囲の除雪が必要となり、経費が増大した。 また、利用料収入の増額と前年までの収支差額を活用し、体育館3室の空調設置と、野球場給湯器の取り換えを行ったことで、経費が増大している。	新規イベントや合宿利用の増加により、利用料収入が増加した点は評価できる。 経費については、物価高騰の影響を受ける中でも節減に努め、概ね例年並みの水準を維持している。 3月の降雪対応により委託費が増加したが、利用予定に配慮した適切な対応といえる。 また、令和6年度の利用料収入の増加分および前年度までの収支差額を活用し、体育館の空調設備や野球場の給湯器を更新するなど、計画的な設備投資が行われている。 全体として健全な財務運営がなされており、今後もその維持と施設環境のさらなる向上に努めること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

自主事業	東京都教育委員会が行う「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」にやまなしスポーツエンジンとともに参画し、東京都の中学生を対象に「富士北麓Challenge Day」を開催した。 また、継続して実施している管理事務所窓口では、カップ麺の販売を再開し、また栄養調整食品、飲料の販売を行うなど、利用者ニーズに合わせた事業を展開した。	東京都教育委員会が実施する「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」に、やまなしスポーツエンジンと連携して参画し、東京都の中学生を対象に「富士北麓Challenge Day」を開催するなど、教育的意義のある事業に積極的に取り組んでいる点は評価できる。 また、管理事務所窓口においては、栄養調整食品や飲料の提供を行うなど、利用者ニーズに応じた商品展開が継続されており、サービス向上への工夫が見られる。 今後も、地域内外との連携を活かした事業展開を継続するとともに、利用者の視点に立ったサービスの充実に努めること。
利用者満足度	引き続き利用者からは高評価をいただいている。3月からアンケート収集数を増やすため、合宿利用者やツーリングなどで駐車場を利用する方へ協力を求める取り組みを行った。 室温に関することや、衛生設備に対する意見が多くある傾向にあり、対応可能なものは迅速に対応した。	利用者からは引き続き高い評価を得ており、アンケート収集の強化や、室温・衛生設備に関する意見への迅速な対応が図られている点は評価できる。 今後も、利用者の声を的確に把握し、満足度の更なる向上に努めること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

9 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
施設の利用 促進業務	県民の健康の維持増進およびスポーツ振興の観点から、運動施設を活用した健康づくり・体力づくりの場の提供状況について、以下の3項目を指標として評価した。 1. 運動施設の年間利用者数 目標:121,011人／実績:133,551人(達成) 大型イベントや合宿利用の増加、地域住民の利用回復などが寄与し、目標を大きく上回る結果となった。施設の有効活用が図られており、利用促進の取組として高く評価できる。 2. スポーツ振興イベントの参加者数 目標:1,460人／実績:907人(未達成) 目標には届かなかったが、一定の参加実績は確保されている。イベント内容や広報手法の見直しにより、さらなる参加者の拡大が期待される。特に教育機関との連携や地域団体との協力体制の強化が今後の課題である。 3. スポーツ教室の参加者数 目標:860人／実績:231人(未達成) 講師確保やプログラム調整、広報不足などが影響し、参加者数は目標を大きく下回った。令和7年度は、ニーズに即した教室内容の見直しや、参加しやすい仕組みづくり、早期の計画立案が求められる。 全体として、施設の利用促進という観点では一定の成果が見られたが、イベント・教室事業においては引き続き改善の余地がある。 今後は、各指標の達成に向けた具体的な取組と、進捗管理の強化が期待される。	「運動施設の年間利用者数」については、地域特性を活かしたイベントの受け入れや、施設の稼働状況に応じた柔軟な施設運営が奏功し、目標を達成した点は評価できる。今後も、利用者ニーズに応じた対応と、さらなる満足度向上に向けた取組を継続すること。 一方、「スポーツ振興イベント」および「スポーツ教室」は目標を下回り、広報の工夫や講師・会場の調整(日程確保や施設予約の調整等)に課題が見られた。今後は、早期の段階での講師確保や会場・日程の調整を行い、実現可能性の高い計画を立案することが求められる。また、実施が困難と判断される場合には、速やかに計画変更の届出を行うこと。 また、SNSや施設内掲示など多様な広報手段を活用し、対象層に届く効果的な情報発信を行うとともに、平日夜間や週末など参加しやすい時間帯の設定、初心者向けや短時間で完結する内容など、参加者のライフスタイルに配慮したプログラム構成を工夫することで、参加者数の拡大と目標達成を図ること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和6年4月1日現在

